

FLC学びのエリア

< 志村四中・志村坂下小・北前野小・緑小・志村小 >



令和8年1月8日

板橋区立志村小学校

校長 佐久間 康弘

1月号

志村小ホームページ

学校スローガン「みんなが笑顔」

<http://www.ita.ed.jp/edu/simuraes/>

## 新しい年の始まり

校長 佐久間康弘

令和8年、新しい年を迎えました。ご家庭の皆さまには、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

1月は、年間のめあてを立て、気持ちを新たに歩み出す時期です。昨日より今日、今日より明日へと、少しずつ積み重ねていくことで大きく成長していきます。子供たちには「継続は力なり」と「自分で考えて行動する力」を大切にしてほしいと全校朝会で伝えています。

また、志村小学校では友達とともに学び合う活動を増やしています。これは自分のペースで進める学習をベースに、意見を交わし、協力して取り組む中で、一人では気づけなかった考えに出会い学びを深めます。今年も、互いを尊重し合う温かい関係づくりを大切にしていきたいと思います。

今を生きていく未来は、インターネット接続やデータ処理、人工知能（AI）などの新たな技術の進展により、変化の激しい時代になると予想され、子供たちには次の時代を切り拓くために必要な力が求められています。そしてその力を育むために、これまで以上に学校が教育活動に力を注ぐ必要があります。

学校では、社会の様々な要請を受けながら、熱意や使命感ある教師たちが、教育活動に関わる多くの業務を担ってきましたが、疲れている教師では子供たちに十分な指導はできません。教員不足が報道されていますが、教師の働く環境が厳しいと、意欲や能力のある若者が教師を志さなくなり、学校教育の質の低下を招くことにもなりかねません。実際に教員採用倍率は低迷しています。

文部科学省から教師の働き方を見直す「学校の働き方改革」が進められています。

指針は「勤務時間管理の徹底」「学校の業務を減らす」です。教師が本来の業務に専念できるようにするため、業務量の縮減や役割分担の見直しを進めるため教師の業務を3分類に示されました。(1)【学校以外が担うべき業務】、(2)【教師以外が積極的に参画すべき業務】、(3)【教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務】です。

教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務として挙げられたのは、

給食の時間における対応	授業準備	学習評価や成績処理
学校行事の準備・運営	進路指導の準備	支援が必要な児童生徒・家庭への対応

です。

本校では近年の教育課題である教員の働き方改革にも取り組んでおります。限られた時間の中で、より質の高い学びを届けられるよう、業務の見直しや効率化を進めております。保護者の皆さまには、学校への連絡方法・来校の機会などで一部のご協力をお願いする場合がございますが、すべては子供たちの学びをよりよいものにするための取り組みであることをご理解いただければ幸いです。

1年の始まりは、子供たちの表情にも新しいやる気があふれる時期です。学校と家庭が力を合わせながら、安心してチャレンジできる環境を整え、「できた!」「わかった!」が広がる1年にしていきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。